

あ と が き

本校が養護学校として独立開校するに当たり、学校経営の努力点として第一に掲げたのは、新しい校風の樹立であった。初年度は、小学部・中学部の協力態勢を確立し独立校としての基盤を固め、2年目は、高等部も設立されて小・中・高の協力態勢の確立に努力を払った。2年目は特に英知を結集して新校舎の建設にも全力を傾けた。

一方、研究の面では、小・中・高一貫の教育を目指す教育課程編成の究明が大きな課題となり今日に及んでいる。この研究紀要（第3集）には、その間における特に動きに視点を当てた生活単元学習についての実践研究を集録することにした。開校以来3年目で年月も浅く、多くの問題点がまだ山積している。ことに、子供たちはどのようなときに活発に動いたか、どのように変容したか等の事例を整理・分析し、細かく考察した結果を掲載するまでに至らなかったのは心残りである。しかしながら、子供たちがより生き生きと学習することを願って、小、中、高全教官が一丸となって研究実践に取り組んだことは、新しい校風の樹立となったように思う。本校の研究は緒に就いたばかりである。各位の遠慮のない御叱正を賜れば大変有り難いことである。

最後に、本校研究について終始御指導いただいた鹿児島県教育委員会学校教育課内田文嘉主任指導主事、永長八郎指導主事、西別府光好指導主事（現県立聾学校教頭）、県教育センター塩屋重徳研究主事、鹿児島市教育委員会竹井勝志指導主事、鹿児島大学教育学部久留一郎教授、清原浩助教授、内田芳夫助教授の各先生方に厚くお礼を申し上げます。

副校長 高城 芳 男

研 究 同 人

学 校 長 土屋 正幸

副 校 長 高城 芳男

校務主任 宮原 陸

<小 学 部>

教 諭 永江 武紀

“ 上村 伸雄

“ 高木 寛治

“ 福田 孝志

“ 町 純子

“ 小川三重子

講 師 山口 敏親

<中 等 部>

教 諭 徳田 篤郎

“ 竹下 辰次

“ 森尾 恭光

“ 小園 健一

“ 西富 寛昭

“ 下原 智子

講 師 菊地由美子

<高 等 部>

教 諭 重山 岩久

“ 前田 房雄

“ 平屋 浩司

“ 横井 慎一

“ 山下加代子

“ 稲田 明弘

講 師 今村 浩子

養護教諭 有村 信子